

令和7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

イシダイ日本海西・東シナ海

対象水域	日本海西・東シナ海 (山口県～熊本県)	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、山口県水産研究センター、 福岡県水産海洋技術センター、佐賀県玄 海水産振興センター、長崎県総合水産試 験場、熊本県水産研究センター
------	------------------------	-------	---

- ・ 令和5年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_207.pdf）、次回令和8年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 山口県、福岡県及び機構は、生物情報収集調査を実施
- ・ 各県及び機構は、漁獲情報収集調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 機構では、以西底びき網漁業の主要港における1996～2024年の日別取扱データを収集済み
2025年以降の主要港における日別取扱データを収集中
- ・ 山口県では、主要港における2010～2024年の漁獲量データを収集済み
2025年以降の主要港における漁獲量データを収集中
- ・ 福岡県では、主要港における2011～2024年の漁獲量データを収集済み
2025年以降の主要港における漁獲量データを収集中
- ・ 佐賀県では、主要港における2009～2024年の漁獲量データを収集済み
2025年以降の主要港における漁獲量データを収集中
- ・ 長崎県では、主要港における2010～2024年の漁獲量データを収集済み
2025年以降の主要港における漁獲量データを収集中
- ・ 熊本県では、主要港における2012～2024年の漁獲量データを収集済み
2025年以降の主要港における漁獲量データを収集中
- ・ 山口県では、2021年に149個体、2022年に193個体、2023年に26個体、2024年に91個体、2025年に186個体、福岡県は、2022年に54個体、2023年に35個体、2024年に21個体、2025年に29個体について、それぞれ精密測定を実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和5年度資源評価調査報告書を参照（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_207.pdf）
- (2) 年齢・成長：日本海南西海域における各年齢時の推定尾叉長は1歳 20.1cm、2歳

27.7cm、3歳 32.0cm、5歳 35.7cm、10歳 37.2cm であり、40歳を超える超高齢個体が確認されている（井関ほか 2024）

(3) 成熟・産卵：日本海南西海域における産卵期は5～8月で、雌雄ともに尾叉長 30cm 以上で成熟が開始する（井関ほか 2024）

(4) 被捕食関係：令和 5 年度資源評価調査報告書を参照

(4) 備考

特になし

(5) 引用文献

井関智明・河野光久・松島伸代 (2024) 日本海南西海域におけるイシダイの年齢と成長に関する予察的検討. 日本海ブロック資源評価担当者会議報告(令和 6 年), 43-46.